

小浜子育て応援地区 都市再生整備計画 事後評価の概要

1. 事業の概要

【事業期間】

令和2～6年度

【事業費】

約13.8億円
(うち国費約4.2億円)

【計画の目標と指標】

目標：「住んでよし」 安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり

指標1：施設全体の利用者数の増加

(子育て支援センター(一時預かり含む)や地域交流センターの年間利用者数)

指標2：施設利用の満足度の高さ

(子育て支援センター(一時預かり含む)や地域交流センター利用の満足度)

指標3：合計特殊出生率の上昇

(15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した、一人の女性が一生の間に産むとしたときの子どもの数を表す指数)

【実施事業】

■地域交流センター(高次都市施設)



小浜市健康管理センター



市民交流エリア

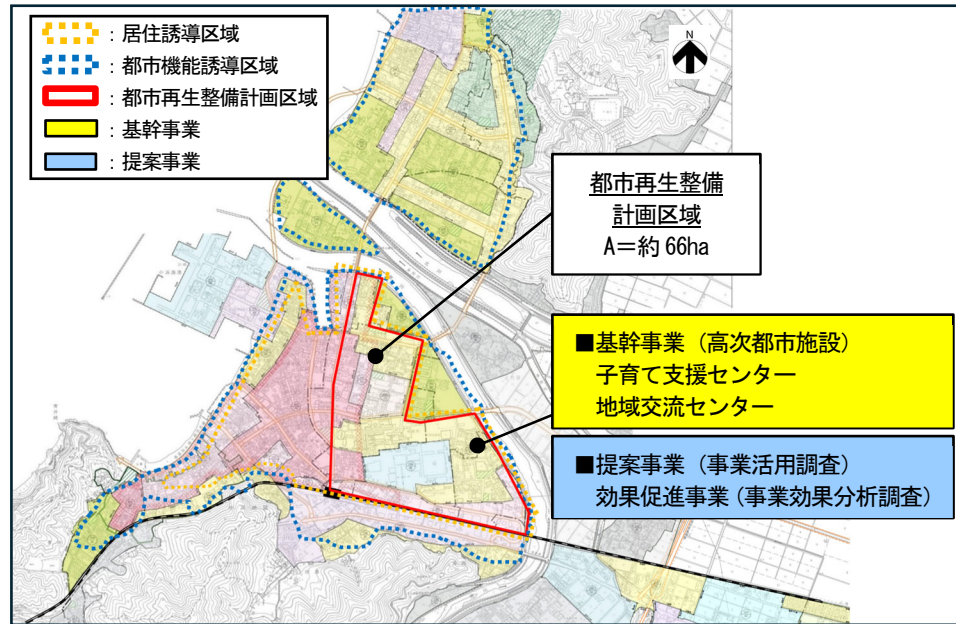
■子育て支援センター(高次都市施設)



子育て支援センター



一時預かりルーム



2. 事業の評価

【指標の達成状況とその評価】

指標1 施設全体の利用者数の増加

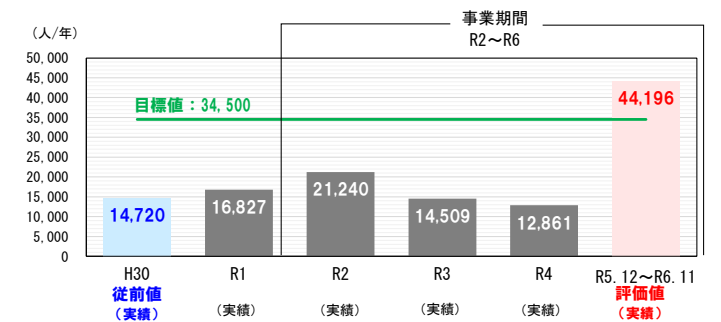
従前値：14,720人/年(H30)

目標値：34,500人/年(R5)

評価値：44,196人/年

目標達成度：○

所見：子育て支援センターのほか、地域交流エリアや健康づくり・介護予防エリアを有しており、市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことにより、利用者数の増加に繋がっている。



指標2 施設利用の満足度の高さ

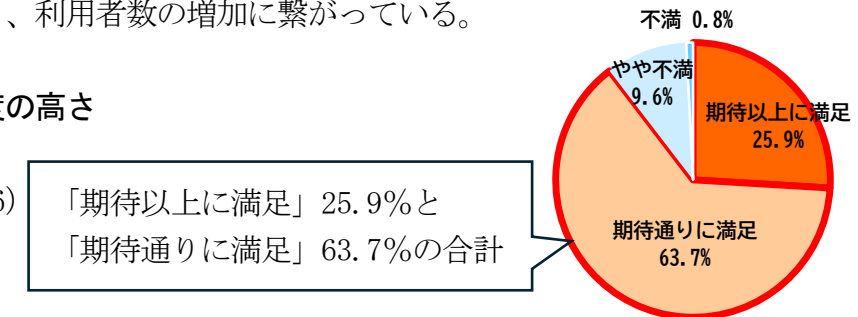
従前値：—

目標値：80.0%(R6)

評価値：89.6%

目標達成度：○

所見：子育て支援センターのほか、地域交流エリアや健康づくり・介護予防エリアを有しており、市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことや各種相談窓口が一元化されたこと等により、利用者の満足度の向上に繋がっている。



指標3 合計特殊出生率の上昇

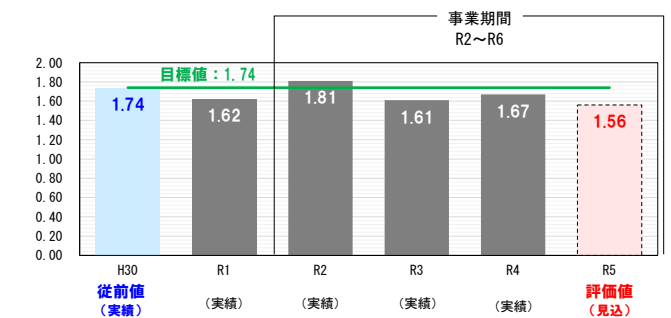
従前値：1.74(H30)

目標値：1.74(R5)

評価値：1.56(見込み)

目標達成度：×

所見：子育て支援センターとの合築による小浜市健康管理センターがまちなかに整備されたが、新型コロナウイルス流行の影響もあり合計特殊出生率の増加には繋がらなかった。ただし、子育て支援センターが整備されて間もないため、今後の合計特殊出生率の推移を注視していく。



【その他の定性的な効果】

- 令和6年度に実施した小浜市健康管理センター利用に関するアンケートにおいて、多くの利用者が整備されてよかった・今後積極的に利用したいと回答していることから、利用者の満足度は高いとかがえる。
- 小浜市健康管理センターにて従来の子育て相談に加え乳幼児一時預かりサービスを開始したことで、子育て世代に対しより一層の支援に繋がった。
- 夏場の猛暑時には玄関ホールと4階市民交流エリアがクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)に指定され、市民の熱中症予防施設としての役割が付加できた。

小浜子育て応援地区 都市再生整備計画 事後評価の概要

3. 利用者アンケート結果

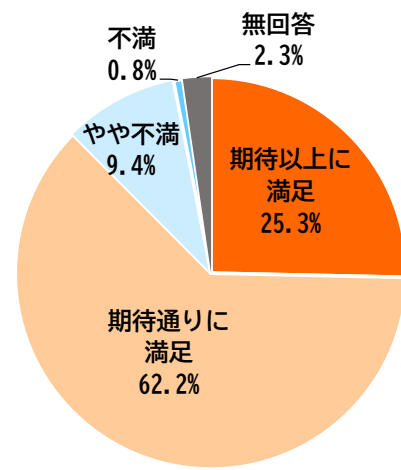
【調査概要】

調査期間：令和6年10月11日（金）～11月29日（金）

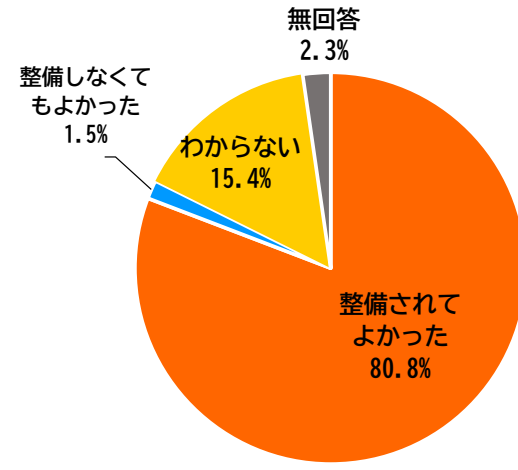
方法：調査員による対面調査及びセンター内に調査票を設置しての据置調査

回答数：521名（内 対面調査：464名、据置調査：27名、WEB回答：30名）

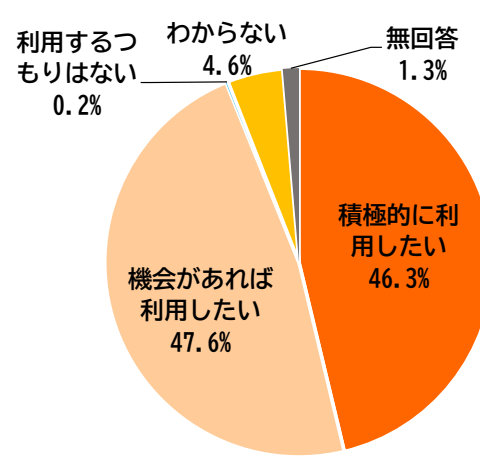
【利用満足度】



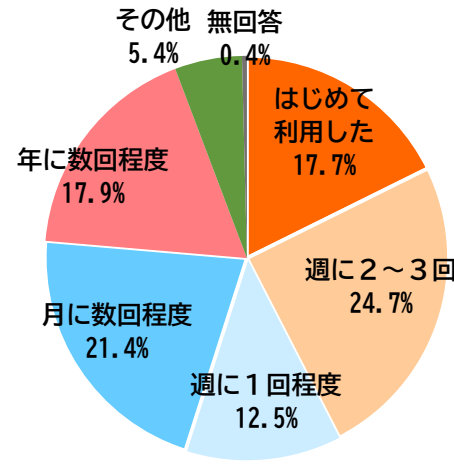
【従前施設と比べた整備効果】



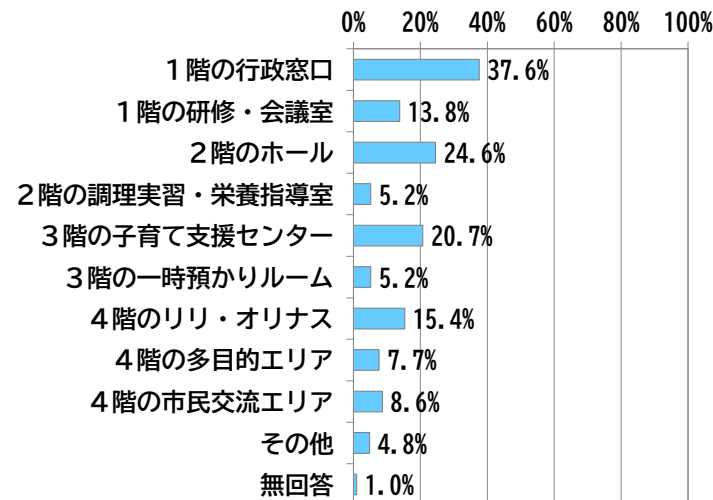
【今後の利用意向】



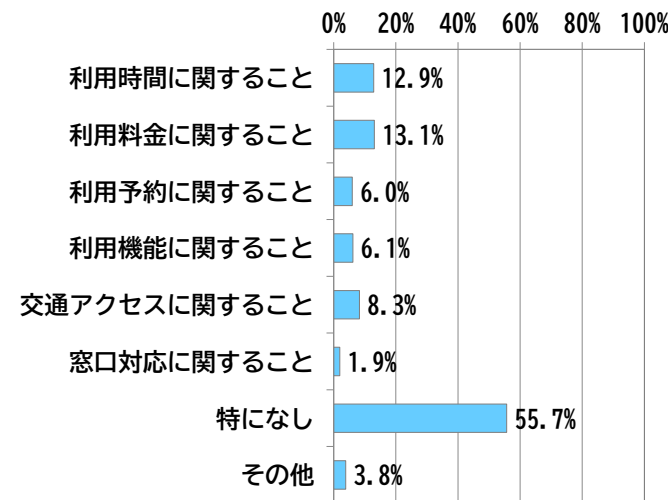
【利用頻度】



【利用した場所】



【改善要望】



【その他の主な意見】

- 日曜日や祝日の利用も可能になると良い。
- 公共交通の便が良くなると良い。
- 施設の利用料金が安くなると良い。
- 雨避けを設置するなど、玄関口が改善されると良い。
- 自動販売機や給湯器などの設備が充実すると良い。

4. 今後のまちづくり方策

【課題の変化】

事業前の課題	達成されたこと (課題の改善状況)	残された未解決の課題
若年層のまちなか居住誘導	-	子育て支援機能は充実したが、子育て世代のまちなか居住増までには至っていない。
まちなかの子育て支援機能の充実	健康管理センター内に子育て支援センターや一時預かりルームが併設整備されており、まちなかの子育て支援機能の充実が図られた。	子育て支援機能は充実したが、合計特殊出生率の向上には至っていない。
まちなかの地域交流の場の創出	健康管理センター内に市民交流エリアが併設整備され、地域交流の場が創出された。	-

【効果の持続を図る事項とその基本的な考え方】

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方
まちなかの子育て支援機能の充実	利用者の意見を踏まえつつ、更にまちなかの子育て支援機能を充実させていく必要がある。
地域交流の場の創出	利用者の意見を踏まえつつ、地域交流の場を充実させていく必要がある。

【改善する事項と改善策の基本的な考え方】

改善する事項	改善策の基本的な考え方
若年層のまちなか居住促進	若年層のまちなか居住促進にあたり、ハード面だけでなく、ソフト面（補助事業・情報発信等）についても進めていく必要がある。
合計特殊出生率の向上	合計特殊出生率向上のため、子どもを育てやすい環境となるよう、子育て支援機能の更なる充実を図っていく必要がある。